株式会社カインズとの包括連携協定の締結について

shiojiri × CAINZ

令和8年11月19日

協定の趣旨

これまで個別に積み重ねてきた連携を、分野横断的・継続的な取組へ発展させます。

相互の資源、ネットワーク及びノウハウを生かし、誰もが安心して自分らしく暮らせる持続可能な地域社会を目指します。

塩尻市

- 地域課題の把握と公共政策
- 地域団体とのネットワーク
- 公共施設・公共空間の活用

共　創



強みを掛け合わせ、
地域課題の解決へ

株式会社カインズ

- 店舗・商品・物流・人材
- 市民との日常的な接点
- 園芸・DIYの専門的な知見

共創による目指す姿

市民サービスの向上　/　地域の活性化　/　持続可能な暮らし

これまでの歩み

shiojiri × CAINZ

平成26年
～平成28年

環境

リサイクルステーションへ
古着・古布回収を導入

平成29年

防災・災害

「災害時における生活物資の
供給協力に関する協定」を締結

令和5年

公共交通

「のるーと塩尻」利用者への
ポイント付与企画を開始

令和6年

地域共生・社会課題解決

保護猫譲渡会を共催で開催、
自動運転とのイベント連携

令和7年

地域産業振興・教育等

パンマルシェ、企業見学、
交通安全啓発などを展開

これまでの取組と成果

環境・資源循環

古着・古布の拠点回収
平成28年度常設回収へ移行

買い物と資源回収を組み合わせ、
市民の利便性向上とごみの減量化に貢献

地域モビリティ

「のるーと塩尻」へのポイント付与
自動運転との連携

くみまちフェスで自動運転を運行し、
公共交通の利用促進に寄与

動物との共生

保護猫譲渡会
毎月第1日曜日・カインズ塩尻店

店舗を地域の動物愛護活動との拠点として
活用

地域産業・福祉

広葉樹薪の販売
福祉事業所と連携したパンマルシェ

森林公社や福祉事業所の商品に
販路と発信の機会を提供

教育・子育て

中学2年生の企業見学
職場体験・PTA講座

働くことや地域企業を身近に感じる体験を
提供

安心・安全・防災

交通安全啓発（塩尻警察署と連携）
災害時の生活物資供給協定

日常の安全啓発から災害時の備えまで、
市民の暮らしを支える体制を整備

連携分野と今後の展開

テーマ	これまでの取組	今後の展開イメージ
地域公共交通及びモビリティの推進	公共交通利用促進、自動運転実証への連携	店舗を活用した移動支援等
産業及び経済の振興	森林公社の広葉樹薪の販売	地域商品の販路拡大
福祉及び共生社会の実現	福祉事業所商品の販売支援（パンマルシェ）	福祉工賃の向上
環境の保全及び資源循環	古着・古布回収	回収品目の拡大、アップサイクル
子育て支援、子ども及び青少年の健全育成等の支援	職場体験、企業見学、PTA講座	ものづくり・園芸体験
地域及び暮らしの安心・安全、災害対策	交通安全啓発、災害時物資供給協定	防災イベント、備蓄啓発
動物との共生環境づくり	保護猫譲渡会	適正飼養、災害時ペット対策
公共空間の活用及び地域資源の価値向上	ー	環境美化活動、高齢者施設の環境支援
シティプロモーション	ー	市政・地域の魅力発信
その他	ー	新たなニーズに応じた連携

※今後の展開イメージには、協定に基づき実施可能性を検討する取組を含みます。

協定を契機に取り組む2つの新たな試み

塩尻市では、公共空間や地域の活動の場について、地域の価値を高める重要な資源として捉えています。
協定を契機に、カインズの資材・道具・園芸・DIYの知見を生かした共創の具体化を進めます。

【実施に向けて調整中】地域の環境美化活動への支援

クリーン塩尻パートナー制度を活用

地域団体	清掃、除草、花壇管理等、地域の担い手として活動
カインズ	資材・道具の活用、園芸・DIYの知見、活動継続の支援策
塩尻市	制度運用、活動場所・安全面の調整、活動の発信・可視化

景観と安全の向上 / 活動の継続 / 参加者の誇り / 新たな担い手

【今後検討】高齢者施設の環境支援

福祉施策と地域活動をつなぐ

施設・利用者	無理なく楽しめる園芸活動への参加、ニーズや効果の共有
カインズ	園芸資材、商品・知見の活用、体験や活動への支援策
塩尻市	施設や関係者との調整、福祉施策や地域活動との接続

交流 / 生きがい / 健康づくり / 役割の創出 / 施設環境の向上

小さな実証 → 効果検証 → 改善 → 地域へ展開

目指す未来

これまで積み重ねてきた個別の取組を、包括連携協定によって分野横断的な共創へと発展させます。
カインズ塩尻店をはじめとする地域のさまざまな場所を、市民、地域団体、企業、行政がつながる場とし、暮らしに身近な課題をともに考え、ともに実践していきます。

STEP① つなぐ



地域のニーズと
カインズの強みを結び付ける

市、地域団体、
福祉施設等からの相談を起点に

STEP② 試す



小規模な実証や
体験から始める

1つの地域、一つの施設から
無理のない範囲で開始

STEP③ 育てる



効果を確認し、持続可能な
取組として地域へ広げる

担い手を増やし、
仕組みとして定着させる

市民の暮らしに最も近い場所から、地域の課題を、地域の力で解決する。

まちのくらしを、地域のみんなでつくる。